



平成28年3月18日

## おかやま地域発展協議体を創設

岡山大学は4月1日、岡山県内の産官学民が連携、協働して地域が抱える種々のニーズや課題に関する検討・研究を行うプラットフォーム「おかやま地域発展協議体」（委員長：荒木勝理事・副学長（社会貢献・国際担当））を創設します。岡山大学が有する多様な分野にわたる専門性や、大学機関という公正中立的な立場を地域貢献に積極的に活かしていくことが狙いです。産官学民の情報共有の場として有効活用していくとともに、市民協働による地域活性化に資する活動につなげていくことを目指します。

### <経緯>

日本は少子高齢化の進展に加え、人口減少時代に突入しています。さらに国の財政難もあり、地方では地域力を結集して活力の持続を図っていくことが大きな課題となっています。そうした中、岡山大学は森田潔学長の就任（2011年）以降、大学が地域資源として地域とともに発展していく「国際学都構想」を掲げ、グローバルな視座に立ち地域連携の強化を打ち出してきました。

また、厳しい時代における岡山地域の発展・活性化に向けて、森田体制5年間の取り組みも併せて、知識基盤型社会における大学の役割を最大限に発揮するため、関係方面におかやま地域発展協議体の創設を呼びかけてきました。

### <構成メンバー>

岡山商工会議所、（一社）岡山経済同友会、岡山県、岡山市、倉敷市、中国銀行、山陽新聞社、岡山大学

### <活動概要>

岡山大学地域総合研究センターが事務局となり、産官民の支援を得ながら「教育」「まちづくり」「技術・環境」「医療」の各分野において、地域のニーズを受けての研究会・勉強会の開催、情報交換、協働による調査研究等にあたります。具体的活動としては、スクールボランティア支援の拡充や米国ポートランドのまちづくり、岡山大学が中心的な役割で参画する産官学民連携の研究会「岡山まちとモビリティ研究会」「おかやまスポーツプロモーション研究会」といったすでに実施中の取り組みを当面のメインに据えていきます。また、大学と地域が必要とする人材の育成及び県内への定着促進に関するネットワークの構築を目指し、将来的にはその情報データベースと人材マッチングシステムである「産官学連携人材ファーム」（仮称）をつくりたいと考えています。



<今後の予定>

4月19日13:00～(予定)に、津島キャンパスにおいて、協議体の創設セレモニーを開催します。発足後には関係する他の経済団体やNPO等に協議体への参加をよびかけるとともに、今秋をめどに協議体の活動指針を協議する「おかやま円卓会議」を組成する計画で、円卓会議メンバーは構成メンバーの代表者(知事、市長ら)を予定しています。

<お問い合わせ>

岡山大学地域総合研究センター  
副センター長・教授 三村 聡  
(電話) 086-251-8468  
(FAX) 086-251-8491